

令和6年（2024年）4月 1日
福祉部長寿社会政策課

第9期豊中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（素案）に関する意見公募手続の結果について

令和6年（2024年）1月11日～1月31日に実施した意見公募手続の結果は下記のとおりです。

（1）集計結果

①提出方法別提出人数と意見件数

	提出方法	提出人数（人）	意見件数（件）
1	郵便		
2	ファクシミリ	1	28
3	電子メール	2	2
4	電子申込システム		
5	所管課への直接提出		
6	その他		
	合計	3	30

②市民等の区分別人数

	市民等	提出人数（人）	意見件数（件）
ア	市の区域内に住所を有する者	2	2
イ	市の区域内に事務所等を有する個人及び法人等	1	28
ウ	市の区域内に存する事務所等に勤務する者		
エ	市の区域内に存する学校に在学する者		
オ	市税の納税義務者		
カ	意見公募手続に係る計画等に利害関係を有するもの		
	その他（市民等の区分が未記入のもの）		
	合計	3	30

(2) 提出意見の概要と市の考え方

No.	該当箇所	提出意見の概要	市の考え方
1	P1.第1章 1. 計画策定の趣旨	地域包括ケアシステム・豊中モデル→地域包括ケアシステム・豊中モデル(12ページ参照)にするか、1ページの下に”*”で12ページの注釈を入れてはどうでしょうか。	左記の用語は用語集に内容を記載しております。
2	P4.第1章 3. 介護保険制度の概要	看護小規模多機能型居宅介護のサービス内容について、サービス拠点での「通い」・「泊まり」におけるとなっておりますが、「訪問」での提供はないのでしょうか。	看護小規模多機能型居宅介護は「通い」「訪問」「泊り」を組み合わせた介護、看護を行うサービスです。今回の改正は、看護小規模多機能型居宅介護のサービス内容に「通い」「泊り」に看護サービスが含まれる旨を明確化し、更なるサービスの普及を進めるものです。
3	P12.第3章 計画の基本的な考え方	高齢者分野における地域包括ケアシステムの図はありますが、地域包括ケアシステム・豊中モデルの図をいれてほしい。	本計画は地域福祉計画を上位計画としており、地域包括ケアシステム・豊中モデルは地域福祉計画における支援体制を示したものであるため、本計画での記載は不要と考えます。また、地域福祉計画では、豊中市地域包括ケアシステム推進基本方針を一体化させ、代表的な取組みである14の個別テーマを再編し、計画の基本目標と連動させることで地域共生社会の実現をめざしており、その内容を記載しています。

4	P12.第3章 計画の基本的な 考え方	高齢者分野における地域包括ケアシステムの図に「豊中市老人介護者（家族）の会」も入れてほしい。	固有名称ではなく、「当事者団体」として図に追加いたします
5	P20.第4章 基本目標1 2) 認知症施策の 充実	認知症支援に関する情報発信の充実に、【オレンジフェア】等のイベント情報や、オレンジフェアの名称を入れてはどうでしょうか。	オレンジフェアの名称は入れていませんが、イベント情報等の発信につきましては、虹ねっと連絡会認知症支援部会等参画団体と連携し、効果的に進めていきます。
6	P23.第4章 基本目標1 2) 認知症施策の 充実 ⑤若年性認知症 の人への支援	既存の資源に【ももの会】を入れてください。	もものは既存の資源に含まれています。
7	P24.第4章 基本目標1 2) 認知症施策の 充実	認知症高齢者・障害者行方不明検索システム（認知症高齢者・障害者徘徊 SOS メールが廃止され、オレンジセーフティネットに変更）と、記載してください また、＜主な内容＞にオレンジセーフティネットの周知・協力を加えてください。	ご意見のとおり、認知症高齢者・障害者行方不明検索システム（認知症高齢者・障害者徘徊 SOS メールが廃止され、オレンジセーフティネットに変更）に修正いたします。 また、認知症高齢者・障害者行方不明検索システムの周知、利用促進については基本目標1、2) 認知症施策の充実（3）地域で見守り支え合う環境づくり、⑤地域での認知症の人の見守り体制の強化において、記載します。

8	P33.第4章 基本目標1 4) 相談及び支援 基盤の構築・強化	〈主な内容〉にヤングケアラー専用窓口の設置について記載してください。	ご指摘のとおり主な内容にヤングケアラー専用窓口の設置について追加します。
9	P35.第4章 基本目標1 4) 相談及び支援 基盤の構築・強化	〈主な内容〉①の(8050問題やひきこもり、ヤングケアラーなど)に障害児・者を()の中に入れてください。	()の中には対象者をさすものではないので記載いたしません。
10	P36.第4章 基本目標1 4) 相談及び支援 基盤の構築・強化	多機関連携会議のメンバーに精神科医や精神保健福祉士・心理士なども含まれるのでしょうか。	ケースに応じて会議メンバーは構成され、支援方針を決定していきます。
11	P40.第4章 基本目標2 1) 社会参加の促進	〈主な内容〉②生涯スポーツの推進 認知症になっても卓球のできる方は多いのですが、身近なところに卓球台を置いているところがありません。 街角ピアノのように、公園や会館などに卓球台が設置されたら、身近な場所で楽しめます。認知症予防・世代間交流につながります。	各体育館において、年齢を問わず楽しめるニュースポーツデー(ペタンク、囲碁ボール及びラージボール卓球等)の実施や、豊島体育館で行うスポーツの日の事業において、ニュースポーツ体験会を開催する等世代間交流の機会を設けています。引き続き、多世代で参加できるようなスポーツの推進について普及啓発を行っていきます。

12	<p>P49.第4章 基本目標3 2)生活支援体制の充実</p>	<p>〈主な内容〉に介護困難（超老老介護、ダブル介護、働きながら介護（介護離職ゼロ）などの介護者等への支援も入れてください。</p>	<p>基本目標2、2)生活支援体制の充実、(3)家族介護者への支援の充実において、個々のケースに対応した相談支援や介護離職防止に向けた事業所への普及啓発を行っております。今後も家族介護者への支援についてはより一層充実を図っていきます。</p>
13	<p>P53.第4章 基本目標2 3)住生活環境の充実</p>	<p>〈主な内容〉に道路環境の整備を加えてください。 また、豊中市道路損傷等通報アプリ「まちカメくん」も掲載してはどうでしょうか。</p>	<p>道路環境の整備については、基本目標2、3)住生活環境の充実、(2)生活環境の充実、③バリアフリー化の推進において取り組んでおります。</p>
14	<p>P56.第4章 基本目標3 1)介護保険制度の効果的・効率的な運営</p>	<p>高齢社会を安心して乗り切るためには、社会全体の介護力の底上げが必要ではないか。 1. 社会全体の介護力の底上げ 介護が必要になったときに、家族、周囲で支えられる介護力を身に付けることは必要なことだと思っております。自分が介護を受けるときに考えられる力にもなると思っています。例えば40歳になったら全員1年間仕事を休職してヘルパー研修をする、高校などで必修科目として習うなど、ヘルパー研修をすれば、ヘルパーの人材不足も補えるのではないかと思います。 2. 介護者の教育 ○家族の教育：高齢になると視覚、聴覚、考え方がどう変化するのか、どのような思いがあるのかなどが理解できていないため意見のすれ違いが生じているように思います。健康に老いるための体操教室、フレイルの栄養教室などは</p>	<p>介護保険制度は社会全体で介護を「支え合う」制度であり、本制度の理念のもと高齢者保健福祉・介護保険施策事業を推進しています。本計画の基本目標3、1)介護保険制度の効果的・効率的な運営、(2)介護サービスの質の向上と介護保険制度の適正な運営の取組みにおいて、介護保険制度等の普及啓発を行っていきます。</p>

		<p>見かけますが、これから介護する人、される人、両方が介護について総合的に学べる教室が必要ではないでしょうか。介護保険で考えられないでしょうか。</p> <p>○介護職の教育：認知症についての知識がないヘルパー多いと感じます。人手不足で毎日の営業をするだけで精一杯で勉強などする余裕があるヘルパーは少ないと思います。市政ではそれらを含めて考えて欲しいです。</p> <p>○認知症の増加に警鐘がならされています。認知症の改善は夢ではなくなっています。その中から有望と思われるものを介護保険でお金を出してどこかの事業所で実践してもらい効果をみるようなこともやってみても良いのではないのでしょうか。</p>	
15	P77.第6章 3. 介護保険サービス等の事業量	<p>介護医療院と介護療養型医療施設が豊中にはありません。遠い他市の施設に入所されています。是非、豊中にも施設整備をお願いします。</p>	<p>介護療養型医療施設については、令和5年度末廃止をするため整備は見込んでいません。</p> <p>介護医療院については、今後の介護保険サービスの整備状況を勘案し、検討を進めます。</p>
16	P77.第6章 3. 介護保険サービス等の事業量	<p>超老老介護などで、介護者自身が入院することが増えています。安心して療養できるように、要介護者の介護度が低くても入所できるような枠があればと思います。</p>	<p>介護度が低くても入居できる施設として特定施設入居者生活介護の整備を進めます。</p>

17	P113.資料編 2. 高齢者・要介護者などの意識・動向	<p>8) 主な介護者の意識・動向 主な介護者の年齢について、80 歳以上が最後になっているが、現在では介護の長期化などで 90 代の介護者も増えています。90 歳以上というのも必要ではないでしょうか。</p> <p>性別・年齢だけでなく、介護者の続柄や介護期間・介護者の体調などもあれば、介護者の実態が分かるのではないのでしょうか。</p>	<p>介護者の続柄、介護者の体調についてはアンケート結果を追記いたします。</p> <p>その他の項目については、次回アンケート調査の参考にします。</p>
18	P116～124.資料編 3. 高齢者支援の担い手の意識・状況	<p>介護現場を担っている方々の貴重な声が集められています。特に p137,p138 では、事業者の抱える厳しい現状がヒシヒシと伝わってきます。ぜひとも保険者としての豊中市はこれらの声を真摯に受け止めていただきたいものです。1月末現在、国から「訪問介護の基本報酬引き下げ」が打ち出されていますが、とんでもないことです。ただでさえ介護人材が不足しているなかで在宅介護がつぶされるのではないかの危機感を覚えます。豊中市介護保険事業運営委員会としても抗議の声をあげてください。</p>	<p>介護現場で働く人のベースアップが確実に行われるよう介護職員処遇改善加算の率が引き上げられています。市としては働きやすい職場の環境整備につながる当該加算の取得が進むよう相談支援などに取り組んでいきます。</p>
19	P119～120.資料編 3. 高齢者支援の担い手の意識・状況 3) 地域包括支援センター	<p>地域包括支援センターの課題や問題点が多く書かれています。業務について再整理・再整備が必要ではないでしょうか。元々、地域包括支援センターは中学校区に 1 か所あればと言われていましたが、超高齢化が進んでいる現在、豊中市に 20 か所は必要ではないでしょうか。地域包括ケアシステム・豊中モデルの実現がむずかしくなるのではないかと不安になります。</p>	<p>7 圏域に 14 か所設置し、業務や課題整理を進める一方で地域課題の解決に向けた検討に取り組むなど、効果的・効率的な運営をめざしています。</p>

20	P120.資料編 3. 高齢者支援の担い手の意識・状況 3) 地域包括支援センター	小多機、看多機→小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護を略さずに記載してください。	用語集に略語について記載しておりますので、本文中には記載いたしません。
21	P134.資料編 3. 高齢者支援の担い手の意識・状況 3) 地域包括支援センター	(8) -① 具多的援助→具体的な援助? ということか。	ご指摘のとおり訂正します。
22	P135.資料編 3. 高齢者支援の担い手の意識・状況 4) 老人介護者(家族)の会	(2) -② 「家族介護者を確保するのが難しいため」この文章が無い方が分かりやすいのではないか。	ご指摘のとおり訂正します。
23	資料編 3. 高齢者支援の担い手の意識・状況 4) 老人介護者(家族)の会	(2) -④ レスパイトケアのために→のためのと修正されてはどうか。	ご指摘のとおり訂正します。

24	<p>P147.資料編 5. 第8期計画関連施策・事業の進捗状況 3) 基本目標3安心して暮らし続けるための生活基盤づくり</p>	<p>要護者虐待や養介護施設従事者→養護者？虐待？ということか。</p>	<p>ご指摘のとおり訂正します。</p>
25	<p>資料編 8. 用語説明</p>	<p>「8050問題（ハチマルゴーマル問題）」 「ヤングケアラー」 について用語説明が欲しい。</p>	<p>左記の用語を記載しました。</p>
26	<p>資料編 8. 用語説明</p>	<p>「ポピュレーションアプローチ」 「ハイリスクアプローチ」 「デジタルサイネージ」 について用語説明が欲しい。</p>	<p>左記の用語を記載しました。</p>
27	<p>資料編 8. 用語説明</p>	<p>「認知症カフェ」→「認知症カフェ（オレンジカフェ）」とした方が良いのではないか。</p>	<p>ご指摘のとおり訂正します。</p>

28	資料編 8. 用語説明	「オレンジセーフティネット」 について用語説明が欲しい。	こちらの用語については、認知症高齢者・障害者行 方不明検索システム（オレンジセーフティネット） で記載しております。
29	資料編 8. 用語説明	「ケアマネジメントB」 について用語説明が欲しい。	左記の用語を記載しました。
30	資料編 8. 用語説明	「救急タグ」 また、どこで発行してもらえるのかなども記載をお願いし ます。	左記の用語を記載しました。 発行については、豊中市消防局のホームページをご 確認ください。